

パブリック・コメント結果～朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)

意見募集期間 平成27年12月28日(月)～平成28年1月27日(水)

意見提出者数 計1名

提出意見数 12件

番号	ページ	項目	意見	本市の考え	修正
1	3～22	2. 人口ビジョンI (人口動向分析)	各ページに各種データが出ている中で、微減・転出入に関して15ページに出産が転出入の要因であるかと述べられているが、同じように、各データの提示にももう少し要因への考えを提示されると課題解決への対応が見え易くなるのではないのでしょうか。	3～22ページにつきましては、本市に関わる統計データで読み取れる事象を整理することを基本としております。そして、それらの事象を総括した結果として読み取ることのできる課題等について、23ページの「2-9. 本市の人口に関する課題」においてまとめております。	無
2	17	2-8. 雇用や就業に関する状況	a. 事業所数と従業員数 民営事業所数は県内19位とあるが、人口比・人口数順位から言うと妥当な順位でしょうか。望ましい事業所数・従業員数・就労人口はどのような目標があるのか提示があるといいです。	事業所数の順位19位は総人口数の順位16位(平成26年1月1日時点)をやや下回る状況にあります。このことに加え、本市は都心の近くにあることが、本市外への就業者が多い状況を招いている可能性があります。 まち・ひと・しごと創生総合戦略は、将来の人口減少社会に適応するために、地域経済が循環し、自立を重視するものであることから、本市におきましても、地域経済の活性化と地域における雇用の確保について、推進していく必要があるものと考えております。このことから、基本目標1に方針「(1)市内産業の活性化と雇用創出」を掲げるとともに、基本目標1の具体的な数値目標として、「民営事業所従業員数の向上:現状値40,003人(H26)、目標値41,000人」を示し、地域経済の活性化と地域における雇用の創出に取り組んで参ります。	無
3	23～29	2-9. 本市の人口に関する課題	若い世代の定住促進を必須にとらえています。が、課題となる住環境・コミュニティ環境などの現状分析はもっと下位概念の計画策定時の市民等へのアンケートやヒヤリング集計の分析などももっと踏まえるとより具体性が出るのではないのでしょうか。	見出し「2-9. 本市の人口に関する課題」が示すとおり、ここではシンプルに人口動態の分析結果から統計的な観点で見て導き出される課題をまとめることとしています。 続く「4. 基本目標」の30ページならびに各基本目標の「■現状と課題」においては、ご意見に沿う形で、市民アンケートの分析結果なども参照し、現状と課題の再整理を行うとともに、本市の課題について詳細化、具体化しています。	無
4	33	4-1. 基本目標1	○市民と事業者の連携及び交流の促進 イベントの支援も大切だが、日常化の中に可視化が必要。	ご意見として承りました。イベント支援だけに限定せず、連携及び交流促進の日常化についても検討して参ります。	無

番号	ページ	項目	意見	本市の考え	修正
5	33	4-1. 基本目標1	○新たな産業創出 産業振興課・地域づくり支援課・福祉課・長寿はつらつ課などの横断的な連携が新しい視点での創業を可能にすると思います。	人口減少の問題が既に顕在化している地域では、地域に住んでいる人たちが自分たちでコミュニティビジネスやソーシャルビジネスを立ち上げ、地域の課題を、地域が持っている資源、人材で解決していこうという動きが強まっています。将来的には人口が減少する本市においても、今後同様の動きは加速することが予想され、コミュニティビジネスの役割がますます重要になると考えております。 このようなコミュニティビジネスは、ご意見のとおり、産業振興課だけでなく、地域づくり支援課・福祉課・長寿はつらつ課などの連携が必要となりますので、本市におきましても、部局横断による連携を進め、新しい視点での創業を支援して参りたいと考えております。	無
6	39～41	4-2. 基本目標2	(2)ふるさと意識の醸成(3)シティプロモーションについても、市民の認知度を知ることが大切	ご意見として承りました。市民の認知度について、市政モニター、市民意識調査等で、調査することを検討して参りたいと考えております。	無
7	41	4-2. 基本目標2	○シティ・セールス朝霞ブランドの育成 育成と同時に市民が育ててきた地味ではあるが、他市・他地域にないものの発掘も大切だと思います。	ご意見を踏まえ、下記のとおり、文章を見直しました。 ・シティ・セールス朝霞ブランドの育成・発掘 シティ・セールス朝霞ブランドとして認定できるような地域資源を発掘するとともに、認定した地域資源の市内外への周知と市のイメージ向上及び郷土意識の醸成のためのブランドを活用した事業展開を図る。	有
8	47	4-3. 基本目標3	①朝霞の次代を担う人材の育成 ○健康教育の推進に朝食摂取率を向上とありますが 現在家庭崩壊して朝食どころでは！という児童もいるかと思えます。そのあたりのフォロー施策は？	総合戦略は国のガイドラインに沿って作成しているものであり、原則として、虐待に関する福祉施策など、地方公共団体の意思に関わらず、国が最低限提供することが義務付けられている施策については対象から外しております。一方で、本市では、平成22年に策定した「あさか子どもプラン」に基づき、家庭環境の改善などに関する施策を実施しており、引き続きこれに取り組んで参ります。	無
9	47	4-3. 基本目標3	○保・幼・小連携の推進 幼・保・小連携と記載を。朝霞市教育振興基本計画も小学校と幼稚園・保育園の連携の推進とあるので。 小1プロブレム 巻末に字句説明を。	本市では「小学校と幼稚園・保育園の連携」とほぼ同義の意味で、既に「保・幼・小連携」も用語として使用しておりますことから、原案のとおり「保・幼・小連携の推進」といたしました。 また、ご意見を受け、小1プロブレムに関する用語の説明を、同47ページに下記のとおり追加します。 ※小1プロブレム：小学校に入学したばかりの小学校1年生が「集団行動がとれない」、「授業中に座ってられない」、「話を聞かない」などの状態が長期間継続する状態。	有

番号	ページ	項目	意見	本市の考え	修正
10	48	4-3. 基本目標3	③質の高い教育を支える教育環境の整備充実 ・アクティブラーニングの…… 施設・設備の例示を記入されているとイメージを膨らませることが出来ます。	ご意見を踏まえ、イメージが明確になるように、下記のとおり、文章を見直しました。 ・アクティブラーニングの実践にむけ、タブレット型コンピュータや電子黒板など、ICT機器の整備を進めるとともに、体験学習の充実を図る。	有
11	50	4-4. 基本目標4	○老人クラブの活動支援 浜崎及び溝沼とあるが、高齢者人口増と介護予防活動の拠点に鑑み、増設の予定は？ また、類似の施設や活動拠点は第5次計画には位置づいてないのでしょうか。	将来人口の見通しでも示しましたとおり、本市におきましても、今後の高齢化の加速は課題として認識しておりますが、具体的な老人福祉センター等の施設につきましては、現時点では増設の予定はございません。	無
12	51	4-4. 基本目標4	②市民活動団体の育成支援 主な取組 機器や備品を整備するとともに……専門性の確保をすべきと思います。多様な住民のニーズに答える為に実践を踏まえつつ、中間的な指導ができるコーディネイター的な存在が必要かと思えます。	市民活動支援ステーションでは、職員自らがコーディネーター役を務められるようNPOに関する研修を毎年受講しております。また、実際に市民活動の場を訪問し、実践を通じて経験を積むなどしており、引き続き職員の資質の向上に努めて参ります。	無

事務局による修正

番号	ページ	項目	内容
1	18	2-8. 雇用や就業に関する状況	「従業員数」を加え、表3のタイトルを「事業所数(公務を除く)、増減率、県に占める割合」へと修正。
2	20		「階層」と「階級」との両方が使われていたが、20ページの図26のキャプションと説明文を修正し、「階級」に統一。
3	20		見出し「c. 就労の状況」を「c. 就業の状況」へと修正。
4	23	2-9. 本市の人口に関する課題	誤字脱字を訂正し、「定住を促進すること、が重要である。」へと修正。
5	23		他のページへの参照の不備2箇所を訂正。
6	27	3-2. 総合戦略に取り組んだ場合の将来人口の展望	図33における試算②～④の女性90歳以上の階級について、2,879人から2,897人へと訂正。
7	28		図34における試算③の男性40～44歳の階級について、4,130人から4,166人へと訂正。
8	30	4. 基本目標	他のページへの参照の不備2箇所を訂正。
9	33	4-1. 基本目標1	KPI「商店街店舗数」の単位を追加(店舗)。
10	35	4-1. 基本目標1	KPI「多様な働き方実践企業の市内認定数」の単位を追加(社)。
11	36	4-2. 基本目標2	他のページへの参照の不備1箇所を訂正。
12	38	4-2. 基本目標2	「○児童遊園の管理と改修」を「○児童遊園地の管理と改修」へと修正。
13	42	4-3. 基本目標3	他のページへの参照の不備3箇所を訂正。
14	巻末	URL	URLを次のとおり訂正。 http://www.city.asaka.lg.jp/